



やすらぎ

Vol.27
平成25年[目次] P1,2…[院内災害救護訓練実施]
P3…[栄養課便り]、[登録医名簿]P4…[健康講座]
別紙…[外来担当医師出番表]、[バス時刻表]

病院の災害時の対応は、マニュアル
が大変有意義な訓練となりました。

平成25年1月27日（日）午前10時
より、院内災害救護訓練が実施され、当院からは訓練参加者37名・傷病者役26名・見学者約50名が参加しました。当日は、B棟1階にトリage及び処置エリアを展開、実践に近い形での訓練となり、どの参加者も精一杯取り組んでいました。

今回の訓練により、知識と技術の向上が図られただけでなく、問題点や改善点が明確になり、実際の災害発生時に的確な判断と迅速な対応ができるよう検証していく意味で

さて訓練内容ですが、①災害時の職員緊急連絡訓練、②多数傷病者受け入れ訓練、③京都府による外部からのD M A Tチームの受け入れ訓練、④傷病

が、いまだ完成に至っていません。院長からも院内訓練を打診されていましたところ、昨年末に京都府より、「京都府緊急災害医療チーム訓練及び近畿地方D M A T訓練」への協力依頼がありました。その後、災害対策委員会を頻回に開催して訓練想定・資器材の調達・要員の確保などを検討し、最終的に訓練内容の概容がまとまったのが訓練4日前でありました。



①10時25分「傷病者の受け入れ開始」

第一回 院内災害救護 訓練実施

京都府及び近畿地方
D M A T訓練も同日
開催協力機関として
参加

災害救護対策
委員長（麻酔科部長）

横野 諭

審に際し
て、防災マ
ニュアルの
改訂がなさ
れています。

機能評価受
点などの抽
出と解決を
図る必要が
あります。

が、あれば済
むというも
のではな
く、訓練を
通して問題
の訓練でどこまで混乱なく実施できるか不安と緊張で訓練当日を迎えました。



②「第一次トリアージ(STARTトリアージ)開始」
/傷病の緊急性・重症度に応じ、『赤：最優先治療者』、『黄：待機治療者』
『緑：軽傷群』、『黒：死亡』の4分類にトリアージ

訓練想定は、1月27日（日）午前4時、京都市内を中心とするマグニチュード5.0の地震による大規模災害発生直後において、本院として災害傷病者の医療救護を担うことができるよう、専門知識の習得と技術の向上を図るとともに、新しい「災害救護対策マニュアル」作成の参考となることと、②京都府及び近畿D M A Tが開催する訓練に協力機関として参加することにより、D M A Tチーム等との連携について確認することになります。

今回の訓練目的は、①京都府域内における大規模災害発生直後において、本院として災害傷病者の医療救護を担うことができるよう、専門知識の習得と技術の向上を図るとともに、新しい「災害救護対策マニュアル」作成の参考となることと、②京都府及び近畿D M A Tが開催する訓練に協力機関として参加することにより、D M A Tチーム等との連携について確認することになります。

の救護チームが順次トリアージに臨み
DMAT受け入れ訓練は、迷子（？）の
発令を行い、臨時災害対策本部の設置
および傷病者受け入れ準備を今回B
棟1階ロビーに展開し（実際は、救命セ
ンター入口付近になります）、トリアー
ジエリアに30名以上のマラージュを施
した負傷者役の職員を配し、5チーム

の情報発信から訓練が開始となりま
した。
管理当直者により仮非常事態宣言の
災害救急医療情報システム（EMIS）
から入手し、当院の受け入れ可能数の
情報発信から訓練が開始となりま
した。

トリアージ訓練の後は、赤・黄・緑
の各処置エリアでの二次トリアージと
応急処置訓練を実施。これはさすがに
日常的に救命センターで鍛えられてい
るだけに、検査、処置のみならず、手術
室や収容病棟間の情報伝達も円滑に実
施されました。ただ、災対本部との情報
伝達ツールの無線機の台数が不十分
で、情報停滯を生じたことは反省材料
でした。

今回、薬局のサテライトを設置し、処
方などを伝票にて運用する訓練も組み
込まれました。大量の輸液などを行う
までは至らなかつたため、輸液など
の院内搬送などの訓練もロジ担当者と
併せて今後行いたいと考えています。

7時の直下型地震が発生した。病院職員
及び入院患者において負傷者はなく、

病院機能は維持できていることが確認
された。当院周辺の家屋や建物の倒壊
による多数の傷病者が発生していると
の情報を救命センター管理室内の広域

ました。

トリアージ訓練の後は、赤・黄・緑
の各処置エリアでの二次トリアージと
応急処置訓練を実施。これはさすがに
日常的に救命センターで鍛えられてい
るだけに、検査、処置のみならず、手術
室や収容病棟間の情報伝達も円滑に実
施されました。ただ、災対本部との情報
伝達ツールの無線機の台数が不十分
で、情報停滯を生じたことは反省材料
でした。

参加者の声

●赤エリアでは状態がどんどん変わったり、入れ代わったり、その対応で精一杯だった。（訓練参加者）

●隣の傷病者のところには救護班が来てくれたのに自分のところに来てくれないと、もう誰も来ないのでという恐怖感があった。（傷病者役）

●記録用紙（カルテ）は、バイタル欄や人型模型図などもっと書きやすく工夫すれば時間短縮になると思う。（訓練参加者）

●基本的には医師の指示のもと動くが、応急処置はスピードが重要であり、看護師の判断力も必要になってくると感じた。（訓練参加者）

●看護師が傍にいることの心強さなど、トリアージされる側になって初めて分かることが多くて、私は事務員だが、患者に寄り添った対応を心がけようと思った。（傷病者役）

●情報が錯綜し、DMATの応援などの情報伝達がうまくいかないことがあったが、改善点や問題点が明確になった。（傷病者役）



③10時47分「各エリアに搬送し処置、二次トリアージ開始」



④11時40分「近畿DMATが到着し、活動開始」



⑤15時10分「傷病者の情報伝達後、DMATによる患者搬送をもって訓練終了」

チームが
早くから
到着し、
想定外で
したが、
院外搬出
負傷者の
情報発信
や応援要
請などD
MAT本
部間との
情報発信

に到着が遅れました。待ち時間の間に、
非常食の喫食訓練（？）も実施され、栄養
課職員の周到な準備により、暖かい（熱
い？）昼食を摂ることができました。
DMAT本部から、チーム派遣の報
告があり、搬出の準備が開始されま
した。搬出にあたっては、移動中の病態変
化を最小限にするために、バックボー
ドを使ってのパッケージングを行いま
す。全脊柱固定も2名の負傷者の方の
協力を得て行い、参加者のみならず見学の
方も熱心にご覧になられていきました。
この頃から、DMATチームが統々と
自衛隊車両などにより到着し、負傷者
の情報伝達を受けた後、負傷者とともに
に集結地である京都市消防活動総合セ
ンター（南区）に出発し、全員送り出し
て訓練は終了しました。y

訓練が行われました。このときの情報
から、本部はDMAT派遣を不要と判
断したようですが、折角の訓練です
では非派遣をと要請したため、派遣調
整に時間がかかり、予定時間から大幅

に到着が遅れました。待ち時間の間に、
非常食の喫食訓練（？）も実施され、栄養
課職員の周到な準備により、暖かい（熱
い？）昼食を摂ることができました。
DMAT本部から、チーム派遣の報
告があり、搬出の準備が開始されま
した。搬出にあたっては、移動中の病態変
化を最小限にするために、バックボー
ドを使ってのパッケージングを行いま
す。全脊柱固定も2名の負傷者の方の
協力を得て行い、参加者のみならず見学の
方も熱心にご覧になられていきました。
この頃から、DMATチームが統々と
自衛隊車両などにより到着し、負傷者
の情報伝達を受けた後、負傷者とともに
に集結地である京都市消防活動総合セ
ンター（南区）に出発し、全員送り出し
て訓練は終了しました。y



栄養課便り

お祝い膳を紹介します。

栄養課 管理栄養士 坂野 友香



[洋食]

「牛肉の赤ワイン煮」

(牛肉、玉葱、クレソン、赤ワイン、ブイヨン)

「ムニエル」

～フレッシュトマトソース～
(カレイ、トマト、水菜、バジル)

「パイ包みきのこスープ」

(しめじ、しいたけ、エリンギ、人参、玉葱、

パイシート)

「サラダ盛」

(サニーレタス、水菜、アボカド、トマト、海老、バルメザンチーズ、(ドレッシング))

「ライス or パン」

「フルーツ3種」

[和食]

「春の天ぷら盛」

(キス、南瓜、椎茸、大葉、季節野菜、添…抹茶塩)

「鯛の幽庵焼き」

(鯛、菊花かぶら、柚子、筆生姜)

「炊き合せ」

(有頭海老、かぶら、生麸、人参、絹さや、蛸(桜煮))

「筍の木の芽和え」

(筍水煮、木の芽)

「赤飯」

「赤だし」

「フルーツ3種」

春の香り感じる「筍の木の芽和え」のレシピを紹介します。

材料2人分

・木の芽味噌

茹でた筍…100g 木の芽…2~3枚
だし…100cc 白味噌…大さじ2
☆淡口醤油…小さじ1 みりん…小さじ1
塩…1つまみ 砂糖…小さじ2

作り方

1、筍は一口大に切り☆で軽く煮て下味をつける。2、木の芽をすり鉢ですりつぶし、調味料を加え最後に筍を和える*盛り付けは木の芽を上にのせるとより春らしい見栄えになります。

当院では約10年前から妊婦さんの出産日より5日目にお祝い膳をお出ししていました。今年度から周産期の方に、より充実した入院生活を送っていました。お祝い膳の第一歩としてお祝い膳のニューアルを実施しました。今迄は和食献立のみでしたのが、新たに和・洋の2つの

コースから選択していただけます。また、旬の食材を味わっていただけるよう、季節によつて料理を変えていく予定です。

(右)由良調理師
(左)坂野管理栄養士



◎登録医名簿

(平成25年3月31日現在)

*平成24年10月1日～平成25年3月31日に、当院の登録医になっていた先生方です。

	医療機関名	登録医名	住所	往診	診療科
左京区	中山眼科クリニック	中山 嘉仁	左・下鴨松ノ木町35-1		眼
右京区	栄歯科医院	吉川 栄博	右・西院東貝川町36-2	○	歯
	中村歯科医院	中村 道彦	右・梅津段町38	○	歯
北区	耳鼻咽喉科まつなみクリニック	松波 達也	北・小山花ノ木町18-1		耳・児耳・アレ
	平田医院	平田 俊幸	北・紫野下築山町55-1 メゾン紫野1F		内・循・消
上京区	嶋森歯科医院	嶋森 純史	上・紙屋川町877	○	歯
中京区	中村歯科医院	中村 匡	中・高倉通四条上ル帶屋町574 高倉ビル2F		歯
	しまもと眼科	嶋元 孝純	中・西ノ京職司町72 ウエストフィールド103		眼
	川口クリニック	川口 周利	中・龍池町448-2		産婦

◎診療科の表示

耳…耳鼻咽喉科
産婦…産婦人科児…小児科
内…内科歯…歯科
循…循環器科眼…眼科
消…消化器科

アレ…アレルギー



健 康 講 座

第144,145,146回



当院では地域の皆様方の健康を願い、日常ありがちな病気についてのご理解を深めていただき、日常生活に役立て病気の予防に努めていただくことを目的とした健康講座を開催しています。

平成25年4月、5月、6月の開催日・テーマ・講師をご案内いたします。皆様方のご参加をお待ち申し上げております。

144回
4/26
(金)

- ◎14:00~15:00 「『がん登録』について」
病歴管理課 藤村 恵子
- ◎15:00~16:00 「『がん相談支援センター』について」
入退院支援課 坂田 智子 (医療ソーシャルワーカー)

145回
5/31
(金)

- 「認知症について (仮題)
～赤十字健康生活支援講習～」
看護部 大高 真佐美

146回
6/28
(金)

- 「がん市民公開講座」
呼吸器内科・外科 未定
- 「がん市民公開講座」を、平成25年からは
「健康講座」の日程に取り入れて合同で開催すること
となりました。

*但し、テーマ・講師が変更になる場合は
ご容赦下さい。

●時間：午後2時～4時(4月、5月、6月共) ●場所：当院C棟北6階会議室 ●受講料：無料

●申込み方法：どなたでも聴講可能ですので自由にご参加ください。

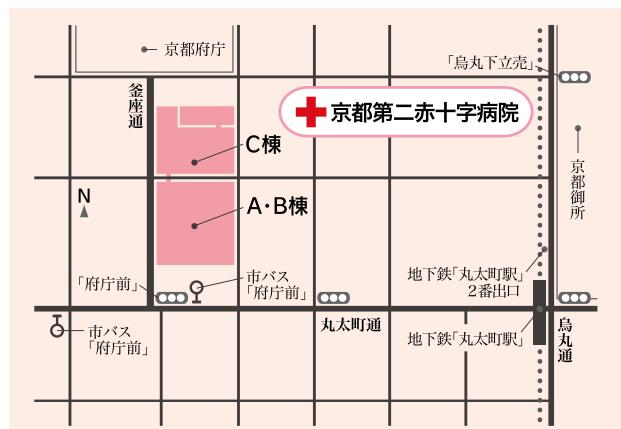
●お問い合わせ：医療社会事業部 社会課(B棟1階) ●TEL：075-212-6984 (内線 8195)

ご面会のみなさまへ

インフルエンザの流行に伴う 面会制限のお願い

インフルエンザの流行が本格的となり、京都市においてもインフルエンザ罹患者数が急増しています。当院では、このような状況に際し、病院内感染の予防、拡大防止のため、風邪症状(咳、体感熱、発熱など)のある方、小児・ご高齢

の方の面会はご遠慮させていただいております。また、上記以外の方におかれましても、お急ぎでない場合には、できる限り面会をご遠慮くださいますようご理解とご協力をお願いいたします。



【アクセス】◎地下鉄烏丸線「丸太町駅」からは2番出口を出て徒歩約5分です。◎市バス(10・93・202・204系統)の最寄の停留所は「府庁前」です。



当院は、
敷地内全面
禁煙です。

当院は、平成21年4月1日から敷地内全面禁煙です。入院患者さんにおかれましては、病院方針に加えて治療が目的であること、また、病院として最善の医療を提供したいことから、病院の敷地内外に閑わらず、入院期間中の喫煙を禁止させていただきます。

*「敷地内」とは、本来の病院敷地に隣接する歩道・車道及び駐車場の全てを含むものと考えております。

京都第二赤十字病院 やすらぎ

～理念～

歩みに入る人にやすらぎを
帰りゆく人に幸せを

発行責任者：日下部 虎夫

発行：京都第二赤十字病院 編集協力：有限会社エイブル

〒602-8026 京都市上京区釜屋通丸太町上ル春帯町 355-5
tel. 075-231-5171(代表)